

「海から見る地球」 ～ 気候変動と海洋プラスチック問題

約40年、プロダイバーとして、海と向き合ってきましたが、海洋環境の劇的な変容は留まる事はありません。水中世界を中心に、環太平洋沿岸の海を見てきましたが、太平洋の真ん中辺りの状況はどうなっているのだろうか？と考え、6年前から自ら操船したヨットで探査・国際交流などを目的に航海を始めました。

ヨットでの旅は「気候変動」による海・空・風の変化がただならないことを僕に伝えてくれました。

そしてプラスチックのゴミだらけの海！正に太平洋はゴミだらけ！でした。

航海距離は6年間で29,000キロ、航海日数は延べ270日間。

これらの報告等に加え、40年間撮影した水中映像等と共に、一人一人が何をしたらよいのか？という事を考えたいと思います。私は、科学者でも、研究者でもありませんので「目撃者」としての話をさせていただいています。

自分の目で見えてきたこと、体験した事だけを伝え、知ってもらうことが自分の使命であると認識しています。

そして、そのことがきっと希望につながると信じています！
なぜなら、まずは「知ることが希望」だからです。

<プログラム>

1、海から見た地球「気候変動・気候危機・気候正義」

①気候変動

- ・地球規模でのサンゴの白化現象
- ・生物多様性の喪失、国内にも広がる「磯焼け」現象
- ・地球温暖化、気候変動と異常気象の違いは？

②気候危機

- ・「風が変わった！」太平洋の島々で命と生活を脅かすもの
- ・地球規模での危機的な状況、もちろん日本の海も

③気候正義

- ・Co2 排出国と、その犠牲となっている国々への不正義
- ・国家間の不正義、世代間の不正義

2、海から見た地球「プラスチックの海」

- ①太平洋の島々、どこへ行っても浜はプラスチックだらけ
- ②プラスチック問題と気候変動は同じ問題
- ③リサイクルしていない？日本の現状
- ④プラスチックと環境ホルモン

3、気候正義に立ち向かう行動を！

- ①一人一人ができることから大きな変化へ、希望はある！
- ②どう学ぶのか？効果的な行動の選択を！
- ③声を上げ続けよう！「知ることが、希望」



環境活動家 武本匡弘の水中映像などを中心にした気候危機・生物多様性等に関する情報提供FB →



NPO法人気候危機対策ネットワークHP



日本で最初のプラスチックフリーストア
ゼロウェイスト・共同運営を目指す
エコストアパラギ HP →



- 1985年 ダイビング会社設立
- 1999年 NPO パパラギ海と自然の教室設立
- 2001年 NPO ジェーン グドール JAPAN 設立
- 2009年 上関原発建設予定地～祝島海域にて潜水調査及び記録撮影開始。
- 2014年 ダイビング会社(社員 60 名)を後継者に譲渡。「環境活動家」としての活動を開始。
- 2019年 藤沢市に(一社)プラスチックフリー普及協会「エコストア パパラギ」を開設
- 2020年 NPO 法人気候危機対策ネットワーク設立

武本 匡弘 プロダイバー・環境活動家

NPO法人 気候危機対策ネットワーク 代表理事

(財)日本自然保護協会自然観察指導員

日本サンゴ礁学会会員

グリーンピースジャパンアンバサダー

ご質問などは、こちらまで

kikoukiki@eco-papa.com



NPO気候危機対策ネットワーク